

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-43767

(43)公開日 平成6年(1994)6月10日

(51)Int.Cl.*

G 0 7 D 1/00

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

GBL

9145-3E

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁)

(21)出願番号

実開平4-78312

(22)出願日

平成4年(1992)11月13日

(71)出願人 000175412

三喜工業株式会社

東京都目黒区中町1丁目14番2号

(72)考案者 川浪 喜嗣

東京都目黒区中町1丁目14番2号 三喜工業株式会社内

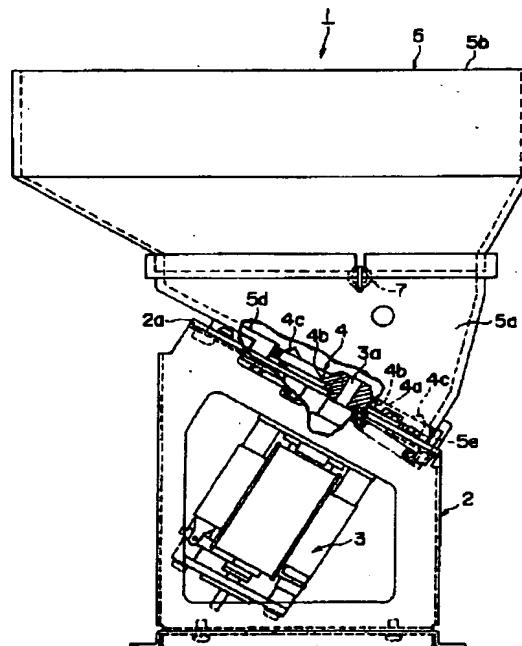
(74)代理人 弁理士 志賀 正武 (外2名)

(54)【考案の名称】 クイン送出装置

(57)【要約】

【目的】 ホッパー内に集積されたコインにより回転円盤4が過負荷を受けず、しかもブリッジ現象の発生あるいはコインの噛み込みを抑えてコインを適切に送出することができるクイン送出装置を提供することを目的としている。

【構成】 ホッパー5と、ホッパー5内に回転駆動されるように配設された回転円盤4とを有し、ホッパー5に投入されたコインC…を回転円盤4の回転により送出するようにし、ホッパー5に、伸縮自在の弾性体7がホッパー5内の少なくとも回転円盤4の直上またはその近傍を横切るように架設されている。



1
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ホッパーと、このホッパー内に回転駆動されるように配設された回転円盤とを有し、前記ホッパーに投入されたコインを前記回転円盤の回転により送出するようにしたコイン送出装置であって、前記ホッパーに、伸縮自在の弾性体が該ホッパー内の少なくとも前記回転円盤の直上またはその近傍を横切るように架設されていることを特徴とするコイン送出装置。

【請求項2】 請求項1記載のコイン送出装置において、前記ホッパーに架設した前記弾性体が前記回転円盤の盤面から上方に少なくとも投入対象となるコインの直徑L×2の寸法をもって架設されていることを特徴とするコイン送出装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案のコイン送出装置の一実施例を示した側面図である。

【図2】 同装置のコイルばねの取付け状況を示した平面図である。

【図3】 同装置の正面図である。

2
* 【図4】 コイルばねの伸縮状況を示した要部正断面図である。

【図5】 コイルばねの伸縮状況を示した要部正断面図である。

【図6】 コイルばねの別の取付け状況を示した平面図である。

【図7】 回転円盤の他の例を示した平面図である。

【図8】 従来のコイン送出装置を示した要部側断面図である。

【図9】 ブリッジ現象を示した側断面図である。

【図10】 ホッパー壁面に突き出しを設けた装置を示す要部側断面図である。

【符号の説明】

1 コイン送出装置

4 回転円盤

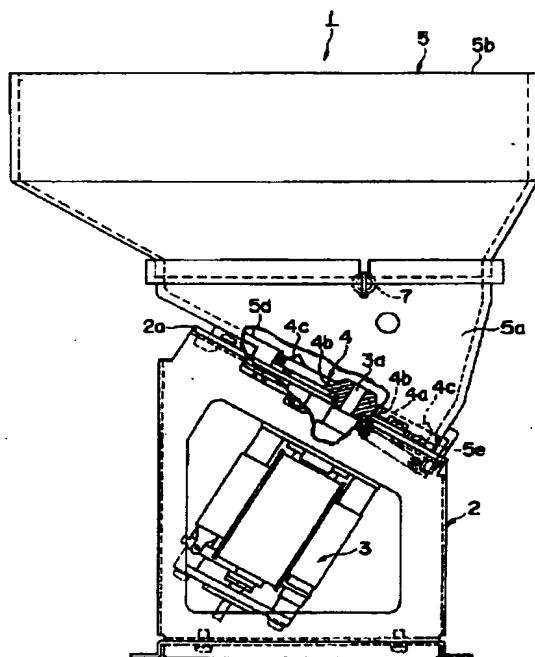
5 ホッパー

7 弾性体

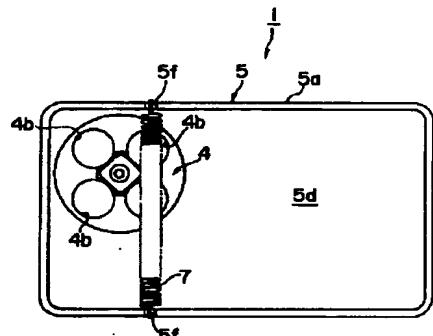
C… コイン

*

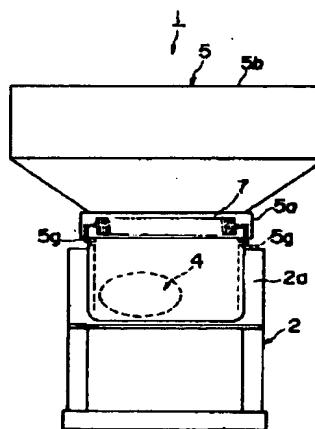
【図1】



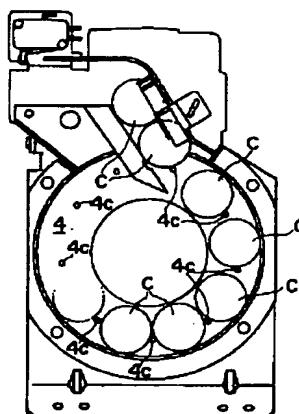
【図2】



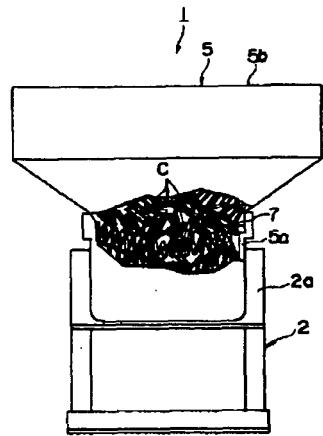
【図3】



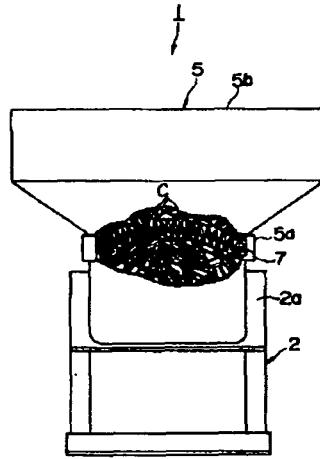
【図7】



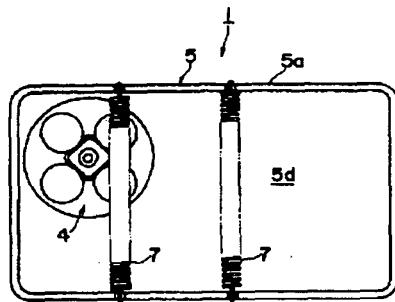
【図4】



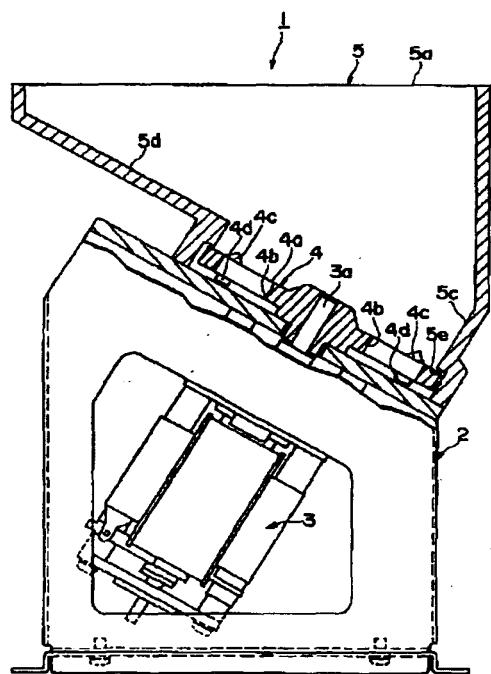
【図5】



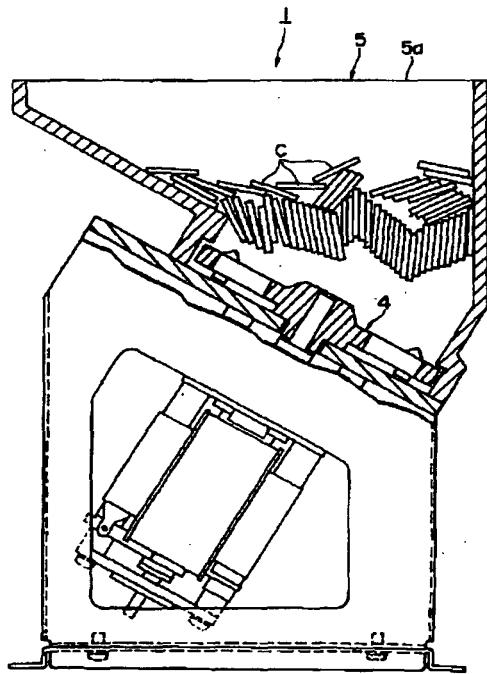
【図6】



【図8】



【図9】



(4)

実開平6-43767

【図10】

